

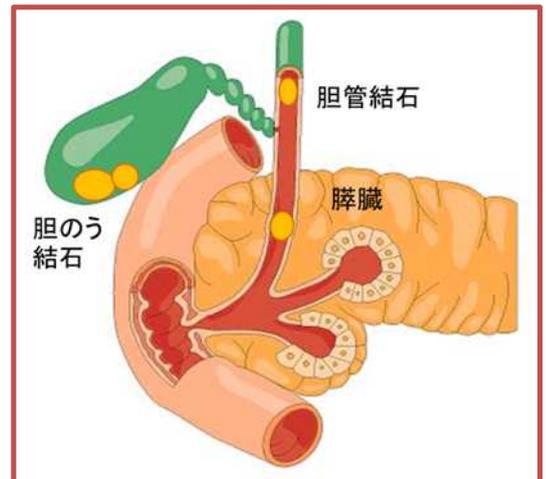
胆石症

市立大津市民病院では、ほとんどの患者さんに対して従来の開腹術（10～20cmのきず）ではなく、腹腔鏡下胆のう摘出術（5～10mm程度のきずが1～4か所）を行っています。

肝臓でつくられた胆汁が何らかの原因によって固まり、「胆石」ができることがあります。できる場所により胆のう結石、胆管結石と名前は変わりますが、ここでは胆のう結石による胆石症について説明いたします。

胆石症とは

上腹部痛、発熱、黄疸が代表的な症状です。感染を起こすと（急性化膿性閉塞性胆管炎）意識障害やショック症状が加わり、死亡率は40～70%にも達します。特に高齢者では急変しやすいので緊急手術が必要となることがあります。また、胆のう癌を合併することもあります。症状がない場合には経過観察でも大丈夫ですが、いったん何らかの症状が出た場合には繰り返すことが多く、重症化することもしばしばですので早めの手術（胆石の工場である胆のうの摘出）をおすすめします。



腹腔鏡下胆のう摘出術とは

当院では、ほとんどの患者さんに対して従来の開腹術（10～20cmのきず）ではなく、腹腔鏡下胆のう摘出術（5～10mm程度のきずが1～4か所）を行っています。手術時間は約1時間で、当院では年間100人前後の患者さんに対して本手術を行っています。きずが小さいので痛みが少なく、翌日より歩行、食事摂取が可能です。入院期間は3日程度で、お仕事にも早く復帰できます。

ご病気の状態によって腹腔鏡下手術ができない場合もありますので、手術を検討されている場合には一度当院外科外来を受診していただければご相談させていただきます。

おおよその入院期間と費用について

手術名称	入院期間	点数	保険3割負担の方の概算費用 (限度額適用なしの場合)
腹腔鏡下胆のう摘出術	9日間程度	80,000点程度	25万円程度

概算は、限度額を適応していない金額です。

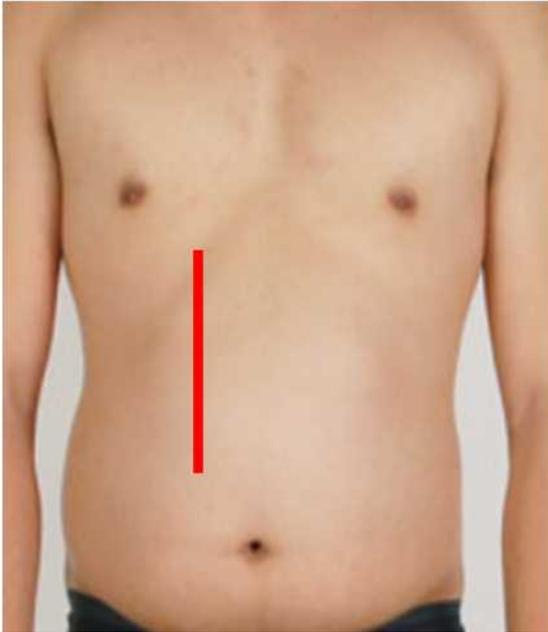
※70歳未満の方が限度額認定証をご提示いただくと、

1ヶ月ごとの自己負担額が、所得区分:ウ(年収約370万～770万円)の方で10万円前後です。

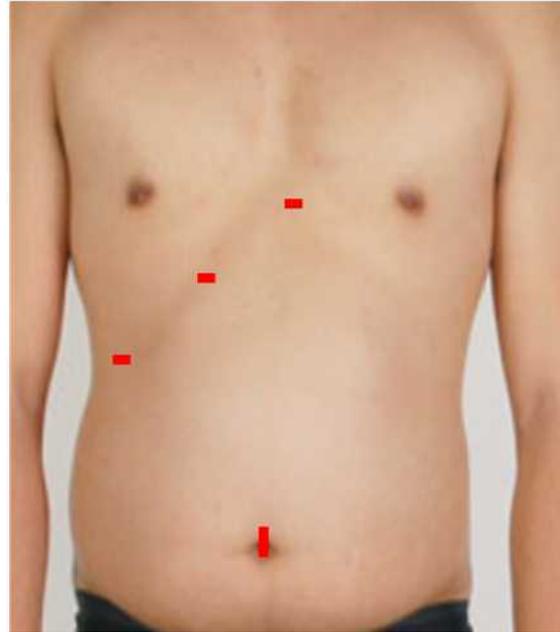
※70歳以上の方は高齢者受給者証をご提示いただくと、

1ヶ月ごとの自己負担額が、所得区分:一般の方で57,600円程度です。

限度額は所得により異なります。食事代や差額ベッド代は限度額認定証の対象外です。



開腹胆のう摘出術のきず



腹腔鏡下胆のう摘出術のきず
(マルチポート法の場合)



私

たちにお任せください



診療部長
廣川 文鋭



医長
鷺田 修史